

インターアジア現象としての『イスラーム』、そのジェンダー的分析
差異の指標から変化のけん引力へ

2020年度第3回公開研究会

オンライン開催（事前登録制）

参加を希望される方は、開催前日（3月2日）までに下記フォームより登録してください。開催日までにオンラインでの参加についてのお知らせをお送りします。

<https://forms.gle/usRi7GcXxuDPoz9CA>

3/3 (水)
13:00 ~ 14:30

ヘバタツラー・オマル

名古屋大学人文学研究科（文化人類学）

女子割礼の実態と西洋普遍主義との関係 エジプトにおける事例から

文化人類学において、女性性器切除（female genital mutilation、以下、FGM）は、重要な研究テーマのひとつである。これまで、FGM は、女性の身体を傷つけ、健康を損なうものであるとして、女性の人権やフェミニズムの視点、異文化表象の視点から多くの議論がなされてきた。しかしながら、それらの先行研究においては、それぞれの地域的背景の考慮が不十分であり、西洋の普遍主義がそれぞれの地域の FGM の実践に与えた影響についての検討も十分になされていなかった。

そこで、本報告では、FGM の実践の一例として、エジプトの女子割礼の事例を取り上げ、エジプトの地域的背景に着目しつつ、西洋の普遍主義がエジプトの女子割礼の実態に与えた影響について明らかにしたい。

問い合わせ先：iaigproject@gmail.com（iAIG 事務局）

共催：「科研費基盤（A）イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究（代表：長澤栄治）」
主催：立命館大学アジア・日本研究所 アジア・日本研究推進プログラム「インターアジア現象としての『イスラーム的ジェンダー』の考察：差異の指標から変化のけん引力へ」（iAIG）
<http://www.ritsumeiji.ac.jp/research/aji/research/kyousei/03.html/>
<https://iaigproject.blogspot.com/>